

氏名	広 恵 俊 雄
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 263 号
学位授与の日付	昭和42年12月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	Forel-H 野破壊術の基礎的並びに臨床的研究 第1報 Strychnine Neuronography による Forel-H 野 の研究 第2報 定位的 Forel-H 野破壊術の臨床的研究
論文審査委員	教授 西 本 詮 教授 田 中 早 苗 教授 砂 田 輝 武

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

Strychnine Neuronography によりネコ脳の Forel-H 野の検索をおこない、皮質刺激で Forel-H 野において同側優位の棘波をみとめ、つづいて視床にもほぼ同様な棘波の伝播をみ、皮質より Forel-H 野およびこれら皮質下核にたいし、かなり強力な下行性連絡のあることを示した。さらに Forel-H 野刺激では皮質および皮質下核にはほとんど影響がないことが分った。

定位的 Forel-H 野破壊術を50例の大発作を有するてんかん患者に施行し、術後経過を観察した。術後期間が長くなるにつれて多少ながら再発する傾向はあったが、この手術は大発作の消失、頻度あるいは持続期間の短縮にたいしてかなりの効果があった。また Forel-H 野における深部脳波は頭皮上脳波とは異なった波形を示し、Forel-H 野電気刺激では頭皮上脳波への影響はみとめられず、さらに術前および術後の脳波検索では有意の変化のないことを知った。

(昭和42年8月 岡山医学会雑誌第79巻7.8号に掲載)

論文審査の結果の要旨

てんかん痙攣伝導路は、Forel-H 野を集中的に走っている事が従来知られているが、本研究は、ストリキニン、ニューログラフィを用い、生理学的に Forel-H 野に関する線維連絡を実験的に解明するとともに、臨床的に Forel-H 野の電気刺激効果及び同破壊術のてんかん痙攣抑制効果につき観察を行ない、痙攣に関する重要な知見を得たものとして価値ある業績である。

よって本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。